

1 発表テーマ 大隅地域における枝物振興への取組

2 テーマの趣旨・目的

鹿児島県における枝物「シキミ、サカキ、ヒサカキ」の生産は、全国でも有数な生産量となっており、その中で大隅地域は、県内生産量の約5割を占める一大産地である。

一方、生産及び病虫害防除技術の知識のレベルに関しては、各生産団体や生産者毎にバラつきがあり、技術の向上を図る必要がある。

また、個体間特性の大きな母樹を育成することが、商品とする際の加工等に多くの時間を要することになっている。

さらには、枝物生産者の高齢化が進んでおり、担い手の育成を図っていく必要がある状況になっている。

そこで、大隅地域の枝物振興のため、以下の取組を行うこととした。

- ・枝物栽培技術の向上対策
- ・枝物生産者等関係者による情報の共有化
- ・新規生産者の確保・育成に向けた対策

3 取組

(1) 枝物栽培技術の向上対策

- ・枝物栽培暦・枝物管理事例・病虫害対策テキストを、枝物相談員や森林技術総合センター等の協力をいただき作成し、管内生産者に配布するとともに、指導を行ったことで、生産者毎の栽培技術や病虫害防除技術の向上を図ることが出来た。



枝物栽培暦



枝物管理事例



病虫害対策テキスト



講習状況

(2) 枝物生産者等関係者による情報の共有化

- ・管内の枝物生産団体、関係市町、枝物相談員及び森林技術総合センター等の関係者参集のもと、意見を交わせる枝物情報交換会を開催したことで、優良な品種の有用性や生産・出荷等に関する情報共有が図ることが出来た。



室内研修



現地研修

(3) 新規生産者の確保・育成に向けた対策

・ 枝物生産者養成講座受講者へのフォローアップや新規生産者への病虫害防除等栽培技術の指導を行うとともに、管内農林専攻科系高校生に対し、枝物生産に関する収穫体験を含めた研修会を同校OBのシキミ生産畑等で行った。

この取組により新規生産者の技術の向上が図られ、若手担い手候補への大隅地域での枝物栽培への認知度を高めることが出来た。また、学校から学年の違う農林環境科の生徒に対しての同研修会の開催要請があり、より多くの生徒達に認知度を高める活動を展開した。



現地研修



説明状況



収穫体験

4 今後の計画

(1) 枝物生産技術の改善対策

・ 労働生産性の向上を図るため、ドローンやアシストスーツを活用した管理作業等、生産管理に関する検討を進め、現地研修会を開催する。
・ 労働負荷の少ない林床以外でのサカキ栽培に向けて、品種選定や生産者との連携による実証栽培の取組を進める。

(2) 枝物生産者等関係者による情報の共有化

・ 枝物情報交換会について継続的に開催し、商品出荷に向けた留意点の確認など、関係者間の情報の共有化を図る。

(3) 新規生産者の確保・育成に向けた対策

・ 枝物生産者養成講座受講者等へのフォローアップを行いつつ、転職や定年後の就業に向けた説明会及び管内農林専攻科高校生への説明会を開催し、新規生産者の確保・育成を図る。

(4) 大隅地域産枝物に関する情報発信

・ インターネット等を活用し、大隅地域で生産されている枝物及び生産者についての情報発信を行う。

5 まとめ

大隅地域におけるシキミ、サカキ、ヒサカキ等の枝物生産が、適切な管理と技術等を持った多くの担い手によって、山村への収入増をもたらし、活気あふれる地域の特産品となっていく取組を継続することが、地域振興につながっていくものと考えています。

